

第5号様式（第7条関係）

会議録

会議の名称	清須市保健福祉計画策定委員会（高齢者部会）	
開催日時	平成24年2月21日（火） 午後2時00分～午後2時50分	
開催場所	清須市役所清洲庁舎2階202会議室	
議題	1 開会 2 あいさつ 3 議事 清須市高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画(修正案)について 4 閉会	
会議資料	パブリックコメント実施結果 清須市高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画修正箇所 清須市高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画(修正案)	
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開	
傍聴人の数 （公開した場合）	1名	
出席委員	丹羽委員、小川委員、太田委員、山内（修）委員、石田委員、村瀬委員、山内（文）委員、隅田委員、恒川委員、岡崎委員、筒井委員、山口委員	
欠席委員		
出席者（市）	加藤市長、大鐘健康福祉部長	
事務局	福田高齢福祉課長、山田副主幹、伊藤係長、寺社下係長、平野係長、佐古主任主査、吉田主任主査、アシスト（株）宮澤	
会議の経過		
	丹羽委員長	ご説明ありがとうございました。質疑応答に移りたいと思います。次第の中身につきまして、ご質疑ございましたら、また、追加も結構です。ご発言、お願い致します。いかがでしょうか。岡崎先生、口腔ケアの件、出てきましたけど、どうですか。
	岡崎委員	毎回、パブリックコメントがあると、我々の仲間から意見が出てくるんですけど、だんだん、高齢化に対応して勉強していきますと、

	<p>ますます自分達の役割が大切だというのが身に染みて分かってきます。歯科がまさに命の入り口で、それに対してネットワークを使って連携していくということです。消防士さんが消火で忙しくて、ということではだめで、あらかじめ火事を起さないように予防していくのと一緒に、病気を治す医療じゃなくて病気にならない医療の実現のためには、我々歯科医師の役割が重要であるので、ますます身を引き締めて取り組んでいきたいと感じました。</p>
丹羽 委員長	<p>ありがとうございます。</p>
恒川 委員	<p>今、口腔ケアのことをお話しされたのですが、大病院から入所される方などは、口腔ケアまできちんとされている方がほとんどいないです。看護師不足も原因と思いますが、何とかしていきたいです。</p>
岡崎 委員	<p>その問題だけでも根深いので、ご本人が何をすればいいのか、まわりで看ている人達が何を気づけばいいのか、はたまた、若者が自分で何をなすべきかということがあまりにもまだ浸透していないと思います。それが出来ていくように、実際の在宅歯科診療のネットワークを確立していく必要があります。さらに、若い段階から全ての世代に何が必要かということを開発していくことが必要であり、今、最大の課題だと思っています。</p>
丹羽 委員長	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。次は、地域包括支援センターの件についてお願いします。</p>
小川 委員	<p>地域包括ケアシステムのイメージということで、日常生活圏域というのは、30分で駆けつけられる圏域であるということですが、車で行くのか歩いて行くのか自転車で行くのかということが明記されていませんが、中学校区単位ということとを考慮すると歩いていくに決まっているでしょうけれども、そのところで紛らわしさを感じます。パブリックコメントにも地域包括支援センターをもっと増やしてほしいという意見も出てきておりますのでよろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>徒歩ということではなく、30分で駆けつけることが可能な範囲というふうに解釈しておりますので、移動手段については、徒歩だけでなく、自転車でもバイクでも車でも特に定めていないものと考えています。</p>
小川 委員	<p>徒歩でないとした場合、車であれば一宮市くらいまでは移動可能だと思います。今一番、大事だと思うことは、介護保険での24時間の対応だとか、地域ケアによる在宅介護だと思います。今後、さらに高</p>

		<p>齢化が進行していくなかで、地域包括支援センターが1か所でよいのかと感じます。この委員会を通じて、地域包括支援センターの役割の重要性を再認識し、今後はさらに引き締めて機能の充実のために、高齢福祉課と連携して、清須市の高齢者が安心して暮らせるまち作りを行っていきたいと思っています。</p>
丹羽 委員長		<p>ありがとうございます。 ほかに何かございますか。</p>
石田 委員		<p>今、言う事ではないのですが、1つは、細かいことで、年号の記載の方法で、平成と西暦と書いてある表がありますので、記載は一緒にされたほうがいいんじゃないでしょうか。また、24ページの表の一番下に、介護保険システムのサービスのところが平成21年、22年となっていて、3施設とも、少しずつ伸びております。それで、介護保険料のところの、77ページなのですが、ここが、表現が2012、13、14となっていて、これは先程、申し上げた図なのですが、この介護保険施設のところは全部、3年間同じになっているので、数字に不安があるかなという気がしました。すみません、今、言う事じゃないので。</p>
丹羽 委員長		<p>ありがとうございます。事務局、追加しますか。</p>
事務局		<p>ご指摘の通り、製本する時には統一表示にいたします。それから、先程、金額の話なのですが、老人保健施設については順当に伸ばした形で、一応、初年度の数字で、同じ数字を挙げさせて頂いております。療養型については、今後、これについては伸びることはないで、若干、少ない数字で、3年間、同じ数字で挙げさせて頂いております。また、介護福祉施設、特養の関係なのですが、ご承知の通り、大きな施設が1つ、出来ますので、その分を勘案した分を、プラスさせて頂きまして、3年間、とりあえず同じ数字で挙げさせて頂いております。3年間同一の数値であるのは、施設サービスについては入所者が限られるため、退所される方のところに順番に交替して入所していくと考えています。そのため、同じ数字で、入れさせて頂いております。よろしくお願い致します。</p>
石田 委員長		<p>ありがとうございます。最後ですので、これがずっと残りますので、修正箇所等、ございましたら。他に、どなたかございませんか。どうぞ。</p>
岡崎 委員		<p>前も何回か言ったのですが、財政安定化基金の交付金と介護給付金の準備基金。この交付金や基金の余裕がどれぐらいあるのかという</p>

		のを、教えて欲しいです。
丹羽 委員長		事務局、いかがですか。分かる範囲内で。
事務局		財政安定化基金交付金は、交付される金額すべてです。それから、準備基金の余裕についてですが、ないです。今、試算出来る、目いっぱい数字を挙げさせていただきました。
岡崎 委員		そういう状況ですよ、ということは、盛り込まないのですかね。
事務局		介護保険事業計画については3年ずつの計画になりますので、3年間で使い切りで考えております。たまたま、今回、基金が若干ありましたので、投入出来ますが、次回の計画を作る時には、この余裕が全くない状況ですから、次回の時には準備基金が0という形で、計画策定していくことになるかと考えております。
岡崎 委員		そのことについてアナウンスはしないのですか。 みんなが苦しいし、事務局のかたも目いっぱい頑張ってるしやるので、聞いてて、辛くなるし、だけど応援したいし、その現状を市民の人にも広く分かって頂いたほうがいいのではないかなと感じましたけど。
市長		やはり、保険料の説明をする時には基金の取り崩しなどの件は、重要なことだと思います。保険料をどれだけに推定しているかということと、不足分を何で補ったということは、説明しなければいけないと思います。
丹羽 委員長		よろしいですか。市長の言われる通りで。
事務局		ここに追記で載せて頂く方向で考えさせていただきます。
丹羽 委員長		ありがとうございます。その他、ございませんか。意見も出尽くしたようですので、この皆さんの意見を聞き、まとめました、この報告書を清須市健康福祉計画策定委員会高齢者部会の計画書として、これを答申したいと思いますが、よろしいでしょうか。
事務局		1点、よろしいでしょうか。本日、ご欠席されていますオブザーバーの谷川委員から、メッセージを頂いておりますので、ご披露いたします。
事務局		今日、お昼に、谷川委員さんからお電話がありまして、「計画を読ませて頂きまして、どうもありがとうございます。」ということと、「今後、介護予防の推進と、高齢者の方や、要援護者のかたの見守りの推進に力を入れて下さい。」とコメントを頂きましたので、ご披露致

	します。
丹羽 委員長	ありがとうございました。そうしましたら、終了させていただきます。 高齢者福祉計画第5期介護保険事業計画高齢者部会で、これからの 清須市の安心して、高齢者が住むことができるまちになると思いま す。どうぞよろしく申し上げます。
事務局	長時間にわたりまして、ご協議、どうもありがとうございました。 今回をもちまして、本計画の策定委員会を終了させていただきます。ど うもありがとうございました。

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するためここに署名する

署名委員

署名 恒川武久

署名 岡崎伸一

会議の結果	会議の経過に示したとおり
問い合わせ先	健康福祉部 高齢福祉課 052-400-2911 内線4334